

保健体育科学習指導案

日 時 令和8年2月5日(木)
第5校時 13:30~14:20
学校名 杉並区立泉南中学校
対 象 第2学年A組 34名
会 場 1階第2学年A組教室
授業者 教諭 小俣 尚悟

1 単元名 性感染症とその予防/エイズ(学研「中学保健体育」)

2 単元の目標

- (1) 性感染症及びエイズの疾病概要や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法について理解できるようにする。
- (2) 性感染症の予防について課題を発見し、疾病等にかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を考え、表現できるようにする。
- (3) 性感染症及びエイズについて、自他や社会における課題の解決に向けて、自主的に取り組めるようにする。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
性感染症及びエイズの疾病概要や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法について理解している。	性感染症及びエイズの予防について課題を発見し、疾病等にかかるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を考え、表現している。	性感染症及びエイズについて、自他や社会における課題の解決に向けて、自主的に取り組もうとしている。

4 単元設定の理由

健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それに関わる要因に対する適切な対策が必要である。人口が密集し交通機関が発達している現代においては、病原体が原因で起きるインフルエンザなどの感染症は、多くの人々に短期間で広がる危険性がある。生徒には、感染症に対する正しい知識と適切な予防方法を理解させ、自ら予防に努める態度を身に付けさせる必要がある。

この感染症の一つにH I V感染症、そしてその後発症するエイズが挙げられるが、発見当初、エイズには治療法がなく、報道等では、この病気の恐ろしさが強調された情報が伝えられていた。その結果、人々の間に生じた誤解や偏見から、H I V感染を理由にした就職の内定取消、医療機関での差別的な対応や診療拒否などが起こっていた。

しかし、最近では治療薬の開発が進み、エイズの原因であるH I Vに感染しても感染を早期に発見し、適切な時期に治療を開始することで、エイズの発症を抑えることができるようになってきている。それでも、いったん人々の間に広まってしまった偏見や差別意識の払拭は容易ではなく、社会的にはH I V感染者やエイズ患者に対する偏見や差別が、依然として残っている。

このような状況を踏まえ、本単元では、H I Vなどの感染症やその予防について理解させるとともに、H I V感染者とエイズ患者に対する偏見や差別を解消しようとする態度や、自分の健康を適切に管理・改善していくことができるような資質・能力の育成をねらいとしている。

5 生徒の実態

本学級は、発言がとても多く、保健の授業に仲間と前向きに取り組める生徒が多い。しかし、性に関する話題に対しては、興味をもちつつも、恥ずかしさや周囲を気にして、ふざけたり、軽率な発言をしてしまったりする生徒も少なくない。また、その場の雰囲気によって発言する生徒も一部おり、指導を継続している。

断片的な知識から誤解や偏見を抱いている生徒もおり、H I V感染者への差別的な見方や、不安や恐怖心からくる拒絶的な態度が見られる可能性もある。こうした背景を踏まえ、性感染症の正しい知識を身に付けるだけでなく、感染症の予防方法やH I V感染者について正しく理解し、H I V感染者等に対する偏見や差別を解消しようとする態度を育てていきたい。

6 単元の指導計画（全2時間扱い）

	目標	学習活動	人権教育に関わる留意点等
第1時	性感染症の疾病概要や感染経路、効果的な予防方法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病概要について理解する。 ・ データをもとになぜ東京や大阪の罹患件数が多いのかを考える。 ・ 効果的な予防方法について理解する。 ・ 性感染症への感染リスクを減らすために、自分たちはどうすればよいかを考える。 	感染経路は限定されており、日常生活では感染しないことを明確に伝える。
第2時 (本時)	H I V感染者・エイズ患者の現状や、医学の進歩や適切な治療によりエイズの発症を抑えられることができるようになったことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染経路について理解する。 ・ 早期発見の重要性を理解する。 ・ 疾病概要を理解したうえで、もし自分がエイズ患者だったら、どんな気持ちになるかを考える。 ・ 「H I V感染者等に関する人権問題」の資料をもとに、偏見や差別の実態について理解する。 ・ 偏見や差別の現状を踏まえ、それらを解消するためには、何が必要かを考える。 	感染症に関わる不確かな情報や誤った知識による過剰な対応等について考えさせ、正しい知識を身に付けようとする意欲を高める。

7 人権教育の視点

「H I V感染・エイズ」に関する正しい知識や理解をもとに話し合う活動を通して、偏見や差別を解消し、たがいの人権を尊重し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

8 本時の展開（全2時間中の第2時間目）

(1) 本時の目標

H I V感染者・エイズ患者の現状や、医学の進歩や適切な治療によりエイズの発症を抑えられることができるようになったことを理解する。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応	・人権教育に関わる留意点等
導入 (10分)	○前時の復習をする。 ○エイズに関する初発クイズ →「エイズは飛沫感染するか?」「エイズは根治するのか?」など ○本時の目標や流れの確認をする。	
展開 (30分)	○疾病概要を理解する。 ①3つの感染経路について ②日和見感染について ○エイズの実態について理解する。 ①検査を受けて、早期発見することが感染拡大を防ぐことを理解する。 ②「多剤併用療法（ART）」について ③長期生存できるようになった薬剤について ○資料をもとに、偏見や差別の実態について理解する。 ○もし自分がエイズ患者だったら、どんな気持ちになるかを個人→グループ→全体の順で考える。 ・悲しい。 ・不安、恐れ。 ○偏見や差別の現状を踏まえ、それらを解消するためには、何が必要か個人→グループ→全体の順で考える。 ・正しい知識等を発信する SNS のアカウントを作る。 ・日頃から仲間に対する言葉遣いに気を付ける。	・3つの感染経路や、日常生活では感染しないことを確認する。 ・H I V検査を受けるにあたって、医師や保健師などには守秘義務があることを理解させる。 ・長期生存が可能となったが、生涯にわたる服用の継続や副作用がある点を補足説明する。 ・H I V感染が身近な問題であることを理解させる。 ・自分事として捉えるための発問であるが、偏見や差別につながるような発言については注意する。 ウ（ワークシートの記述内容、観察） ・レッドリボン運動などを紹介し、考える際の手がかりを与える。 ウ（ワークシートの記述内容、観察）
まとめ (10分)	○感染症について学習してきたことをまとめ、健康に生きるためにはどのようなことを心掛けたらよいか考える。 ・正しい知識を得たうえで、検査等を定期的に受診していく。	・エイズについては、正しい知識に基づき、適切な予防や治療等を行うことが必要であることを理解させる。 イ（ワークシートの記述内容）